

専門科目（ソルフェージュ和声）

現代音楽ソルフェージュ

代表教員：藤井 一興

曜日時限：木曜3限

学 期：通年

単 位 数：2

ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）

開設区分：音楽併設

交流区分：

■授業のテーマ

現代音楽作品演奏のためのソルフェージュ

■授業計画及び内容

20世紀以降、現代に至るまでのあらゆる作品を可能な限り、音組織、リズム、形式、様式について、ソルフェージュ的研究を行う。

また、読譜、リズム、初見、即興を通して、今現在なお進展し続けるこの分野の研究領域についてソルフェージュ的方法論を通じ、その理解をより深める。

■教材・参考書

シェーンベルク、ベルク、ウェーベルン、バルトーク、メシアン、ケージ、デュティユー、ベリオ、クセナキス、リゲティ、イ・サン・ユン、ブーレーズ、邦人作品等、その都度研究目的に応じ、教材とする。

■成績評価の方法

学年末試験による。

■履修上の指示事項

■備考（オフィスアワー）

古楽ソルフェージュ

代表教員：栗形 亜樹子

曜日時限：木曜4限

学 期：通年

単 位 数：2

ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）

開設区分：音楽併設

交流区分：

■授業のテーマ

バロック以前の音楽の実際演奏の為の基礎知識

■授業計画及び内容

J. S. バッハ迄の音楽作品の演奏に当り、楽譜に記された情報をどのように理解するのか、また、何が書かれていないのが常であるのか、現代のソルフェージュ、楽典とは全く異なった古い音楽の為の「ソルフェージュ」入門。

基本のソルミゼーション、旋法、音律、レトリック、バロックとルネサンスの基本概念、通奏低音の誕生、リズム変更、テンポ表示、というようなテーマの中から適宜取り上げ、演奏実際へのヒントを探る。普段常識として信じている事項の通用範囲がいかに狭いか、ということ具体的を知り脳を柔軟にする。

■教材・参考書

プリント配布。他はその都度指示。

■成績評価の方法

年度末筆記試験

■履修上の指示事項

■備考（オフィスアワー）

スコアリーディングA

代表教員：照屋 正樹
曜日時限：火曜4限
学 期：通年
単 位 数：2
ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）
開設区分：音楽併設
交流区分：

■授業のテーマ

総譜（スコア）の読解と、様々な総譜をピアノで演奏する能力を高めることを目的とする。

■授業計画及び内容

多種多様な総譜を読譜し、各種楽器の響きの特徴や表現上の特性を踏まえた上で、ピアノでの表現に置き換える可能性を追究する。

■教材・参考書

弦楽四重奏や合唱曲、室内楽の総譜から、移調楽器の読譜、協奏曲、オペラ、管弦楽作品など、多様な音楽形態をその研究対象とする。

■成績評価の方法

平常点、試験による。

■履修上の指示事項

■備考（オフィスアワー）

スコアリーディングB

代表教員：テシュネ ローラン
曜日時限：月曜3限
学 期：通年
単 位 数：2
ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）
開設区分：音楽併設
交流区分：

■授業のテーマ

総譜（スコア）の読解と、様々な総譜をピアノで演奏する力を高めることを目的とする。

■授業計画及び内容

声楽作品や器楽作品の多種多様な総譜を読譜し、各種総譜の響きの特性や表現上の特性を踏まえ、ピアノ用にアレンジし、演奏能力をたかめる。授業方法：グレードに分け、それぞれグループプレッソンの形で授業を行う。

■教材・参考書

弦楽四重奏や合唱曲、室内楽の総譜から、移調楽器の読譜、協奏曲、オペラ、管弦楽作品など、多様な音楽形態をその研究対象とする。

■成績評価の方法

平常点、試験による。

■履修上の指示事項

高度な読譜能力とピアノ演奏技術が要求されるが、スコアリーディングに興味を持つ全科の学生に開講される。開講に先立って、クラス分け試験を行う。

■備考（オフィスアワー）

[メールアドレスはG-net シラバスに記載]
<http://musique-art-vie.seesaa.net/>

スコアリーディングB

代表教員：テシュネ ローラン
曜日時限：月曜4限
学 期：通年
単 位 数：2
ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）
開設区分：音楽併設
交流区分：

■授業のテーマ

総譜（スコア）の解説と、様々な総譜をピアノで演奏する力を高めることを目的とする。

■授業計画及び内容

声楽作品や器楽作品の多種多様な総譜を読譜し、各種総譜の響の特性や表現上の特性を踏まえ、ピアノ用アレンジし、演奏能力をたかめる。授業方法：グレードに分け、それぞれグループレッスンの形で授業を行う。

■教材・参考書

弦楽四重奏や合唱曲、室内楽の総譜から、移調楽器の読譜、協奏曲、オペラ、管弦楽作品など、多様な音楽形態をその研究対象とする。

■成績評価の方法

平常点、試験による。

■履修上の指示事項

高度な読譜能力とピアノ演奏技術が要求されるが、スコアリーディングに興味を持つ全科の学生に開講される。開講に先立って、クラス分け試験を行う。

■備考（オフィスアワー）

[メールアドレスはG-net シラバスに記載]
<http://musique-art-vie.seesaa.net/>

即興演奏ソルフェージュ

代表教員：平野 公崇
曜日時限：木曜4限
学 期：通年
単 位 数：2
ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）
開設区分：音楽併設
交流区分：

■授業のテーマ

即興演奏の習得とそれに付随するソルフェージュカ、アナリーゼカ、室内楽力、創造力等の向上を目指します。

■授業計画及び内容

授業は即興演奏の実演を基本に進めますが、瞬間の作曲と呼ばれる即興演奏を習得するためには楽器の演奏能力以外にも、ソルフェージュカ、アナリーゼカ、室内楽力、創造力、美意識等、多くの知識や能力、感性が求められます。この授業では、特に、ソルフェージュカ、アナリーゼカ、室内楽力の向上を中心に、適宜参考資料、エクササイズを通して目指します。また、年間で数回のコンサートを異ジャンルとのコラボレーションを視野に入れながら行う予定です。皆さんと新しい「何か」に出会えることを楽しみにしています。

■教材・参考書

特に準備しなくて結構です。

■成績評価の方法

平常点とコンサート（試験の代わり）によって決めます。

■履修上の指示事項

先ずは基本的に全員が初心者であることを前提に進めますので、経験の有無は心配せずに。但し、音楽、芸術に対し強く興味を持っていること。

■備考（オフィスアワー）

質問や相談があれば直接授業に来てください。

ソルフェージュ（基礎）

代表教員：照屋 正樹

曜日時限：月曜1限・木曜1限

学 期：前期

単 位 数：2

ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）

開設区分：音楽学部

交流区分：

■授業のテーマ

楽譜を中心に据えた実践的・理論的な音楽言語の基礎能力の習得

■授業計画及び内容

能力別グレード制クラスにより聴音、視唱、リズム、クレ読み、理論の5種を柱に訓練を行い、音楽家としての基礎能力を習得することを目的とする。統一問題による学期末試験結果により「基礎」の終了を認定されると、次の段階「展開」へ進む。

■教材・参考書

担当教員の指示による。

■成績評価の方法

期末試験による評価

■履修上の指示事項

ソルフェージュ能力は訓練を受けることにより向上する点を鑑み、出席を重視する。遅刻、早退に関しても統一された基準が設けられ、一定以上の出席を満たさない場合は失格となるので注意すること。

■備考（オフィスアワー）

月・木曜 12:10～13:00

ソルフェージュ（基礎）

代表教員：照屋 正樹

曜日時限：月曜1限・木曜1限

学 期：後期

単 位 数：2

ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）

開設区分：音楽学部

交流区分：

■授業のテーマ

楽譜を中心に据えた実践的・理論的な音楽言語の基礎能力の習得

■授業計画及び内容

能力別グレード制クラスにより聴音、視唱、リズム、クレ読み、理論の5種を柱に訓練を行い、音楽家としての基礎能力を習得することを目的とする。統一問題による学期末試験結果により「基礎」の終了を認定されると、次の段階「展開」へ進む。

■教材・参考書

担当教員の指示による。

■成績評価の方法

期末試験による評価

■履修上の指示事項

ソルフェージュ能力は訓練を受けることにより向上する点を鑑み、出席を重視する。遅刻、早退に関しても統一された基準が設けられ、一定以上の出席を満たさない場合は失格となるので注意すること。

■備考（オフィスアワー）

月・木曜 12:10～13:00

ソルフェージュ（展開）

代表教員：照屋 正樹
曜日時限：月曜1限・木曜1限
学 期：前期
単 位 数：2
ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）
開設区分：音楽学部
交流区分：

■授業のテーマ

「ソルフェージュ 基礎」の応用として、学生の専攻分野に、より近い範疇での音楽言語の総合的な習得

■授業計画及び内容

応用ソルフェージュ（より高度、かつ汎用なソルフェージュ）、器楽ソルフェージュ（楽器による聴音、初見奏等）、声楽ソルフェージュ（視唱を中心としたソルフェージュ）、ピアノ伴奏ソルフェージュ（ピアノ視奏法を中心としたソルフェージュ）の4種類のクラスがあり、それぞれ統一された理念と方向性をもった授業計画に従って授業が行われる。
また全クラス共、理論の学習が課せられ、上記専門実技に直結したソルフェージュの実技と共に総合的な読譜力を身につける。

■教材・参考書

担当教員の指示による。

■成績評価の方法

期末試験による評価

■履修上の指示事項

ソルフェージュ能力は訓練を受けることにより向上する点を鑑み、出席を重視する。遅刻、早退に関しても統一された基準が設けられ、一定以上の出席を満たさない場合は失格となるので注意すること。

■備考（オフィスアワー）

月・木曜 12:10～13:00

ソルフェージュ（展開）

代表教員：照屋 正樹
曜日時限：月曜2限・水曜2限
学 期：前期
単 位 数：2
ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）
開設区分：音楽学部
交流区分：

■授業のテーマ

「ソルフェージュ 基礎」の応用として、学生の専攻分野に、より近い範疇での音楽言語の総合的な習得

■授業計画及び内容

応用ソルフェージュ（より高度、かつ汎用なソルフェージュ）、器楽ソルフェージュ（楽器による聴音、初見奏等）、声楽ソルフェージュ（視唱を中心としたソルフェージュ）、ピアノ伴奏ソルフェージュ（ピアノ視奏法を中心としたソルフェージュ）の4種類のクラスがあり、それぞれ統一された理念と方向性をもった授業計画に従って授業が行われる。
また全クラス共、理論の学習が課せられ、上記専門実技に直結したソルフェージュの実技と共に総合的な読譜力を身につける。

■教材・参考書

担当教員の指示による。

■成績評価の方法

期末試験による評価

■履修上の指示事項

ソルフェージュ能力は訓練を受けることにより向上する点を鑑み、出席を重視する。遅刻、早退に関しても統一された基準が設けられ、一定以上の出席を満たさない場合は失格となるので注意すること。

■備考（オフィスアワー）

月・木曜 12:10～13:00

ソルフェージュ（展開）

代表教員：照屋 正樹
曜日時限：月曜 1 限・木曜 1 限
学 期：後期
単 位 数：2
ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）
開設区分：音楽学部
交流区分：

■授業のテーマ

「ソルフェージュ 基礎」の応用として、学生の専攻分野に、より近い範疇での音楽言語の総合的な習得

■授業計画及び内容

応用ソルフェージュ（より高度、かつ汎用なソルフェージュ）、器楽ソルフェージュ（楽器による聴音、初見奏等）、声楽ソルフェージュ（視唱を中心としたソルフェージュ）、ピアノ伴奏ソルフェージュ（ピアノ視奏法を中心としたソルフェージュ）の 4 種類のクラスがあり、それぞれ統一された理念と方向性をもった授業計画に従って授業が行われる。
また全クラス共、理論の学習が課せられ、上記専門実技に直結したソルフェージュの実技と共に総合的な読譜力を身につける。

■教材・参考書

担当教員の指示による。

■成績評価の方法

期末試験による評価

■履修上の指示事項

ソルフェージュ能力は訓練を受けることにより向上する点を鑑み、出席を重視する。遅刻、早退に関しても統一された基準が設けられ、一定以上の出席を満たさない場合は失格となるので注意すること。

■備考（オフィスアワー）

月・木曜 12:10～13:00

ソルフェージュ（展開）

代表教員：照屋 正樹
曜日時限：月曜 2 限・木曜 2 限
学 期：後期
単 位 数：2
ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）
開設区分：音楽学部
交流区分：

■授業のテーマ

「ソルフェージュ 基礎」の応用として、学生の専攻分野に、より近い範疇での音楽言語の総合的な習得

■授業計画及び内容

応用ソルフェージュ（より高度、かつ汎用なソルフェージュ）、器楽ソルフェージュ（楽器による聴音、初見奏等）、声楽ソルフェージュ（視唱を中心としたソルフェージュ）、ピアノ伴奏ソルフェージュ（ピアノ視奏法を中心としたソルフェージュ）の 4 種類のクラスがあり、それぞれ統一された理念と方向性をもった授業計画に従って授業が行われる。
また全クラス共、理論の学習が課せられ、上記専門実技に直結したソルフェージュの実技と共に総合的な読譜力を身につける。

■教材・参考書

担当教員の指示による。

■成績評価の方法

期末試験による評価

■履修上の指示事項

ソルフェージュ能力は訓練を受けることにより向上する点を鑑み、出席を重視する。遅刻、早退に関しても統一された基準が設けられ、一定以上の出席を満たさない場合は失格となるので注意すること。

■備考（オフィスアワー）

月・木曜 12:10～13:00

ソルフェージュC-a

代表教員：時松 綾
曜日時限：月曜2限・木曜1限
学 期：前期
単 位 数：2
ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）
開設区分：音楽併設
交流区分：

■授業のテーマ

邦楽専攻学生のための洋楽の基礎ソルフェージュ

■授業計画及び内容

西洋音楽と日本の音楽の違いを意識しつつ、五線譜の読譜基礎訓練を行う。
五線譜による現代邦楽曲の演奏等。

■教材・参考書

適宜指示する。

■成績評価の方法

試験による。

■履修上の指示事項

■備考（オフィスアワー）

ソルフェージュC-a

代表教員：時松 綾
曜日時限：月曜2限・木曜1限
学 期：後期
単 位 数：2
ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）
開設区分：音楽併設
交流区分：

■授業のテーマ

邦楽専攻学生のための洋楽の基礎ソルフェージュ

■授業計画及び内容

西洋音楽と日本の音楽の違いを意識しつつ、五線譜の読譜基礎訓練を行う。
五線譜による現代邦楽曲の演奏等。

■教材・参考書

適宜指示する。

■成績評価の方法

試験による。

■履修上の指示事項

■備考（オフィスアワー）

ソルフェージュCーb

代表教員：テシュネ ローラン
曜日時限：木曜2限・金曜4限
学 期：通年
単 位 数：4
ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）
開設区分：音楽併設
交流区分：

■授業のテーマ

ソルフェージュ実技の基礎と音楽理論の習得。

■授業計画及び内容

音楽的能力の総合的開発と向上を目指し、幅広いレパートリーを楽譜読解力を深めながら、研究する。

■教材・参考書

楽典、楽譜、ソルフェージュ教材

■成績評価の方法

平常点と試験

■履修上の指示事項

教職課程を履修しているものは必修。

■備考（オフィスアワー）

研究実習と研究演習の履修をセットとして履修すること。

[メールアドレスはG-net シラバスに記載]
<http://musique-art-vie.seesaa.net/>

和声（上級）

代表教員：市川 景之
曜日時限：火曜5限
学 期：通年
単 位 数：4
ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）
開設区分：音楽併設
交流区分：

■授業のテーマ

和声は西洋音楽の美質のひとつです。和声中級で学んだ事の実践します。バス課題で構成力を、ソプラノ課題で耳の力を養います。

また、部分的ではありますが、さまざまな作品で和声もたらす魅力について、時には文化的背景も織り交ぜながら解き明かします。

■授業計画及び内容

- 1) 転調・借用
- 2) 変化和音
- 3) 非和声音と内部変換
- 4) 反復進行
- 5) 厳格バス課題 ・ コラールの和声 等

分析：モーツァルト「魔笛」ビゼー「カルメン」
シューマン、ブラームス、フォーレ、ドビュッシー
ラヴェル 等の歌曲、ピアノ曲
バッハの無伴奏作品、平均律 等

■教材・参考書

総合和声（音楽之友社）およびプリント配布

■成績評価の方法

出席・平常点・成績

■履修上の指示事項

「和声中級」単位取得履修済みの者または同等以上の能力を持つ者。

■備考（オフィスアワー）

和声（初級）

代表教員：松下 倫士

曜日時限：火曜3限

学 期：通年

単 位 数：4

ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）

開設区分：音楽併設

交流区分：

■授業のテーマ

■授業計画及び内容

バス及びソプラノ課題の四声体和声を実習する。
学習範囲は「総合和声」（音楽之友社）第1章～第3章までを目処とする。

■教材・参考書

総合和声（音楽之友社）

■成績評価の方法

後期試験でバス及びソプラノ課題を実施させる。

■履修上の指示事項

■備考（オフィスアワー）

和声（初級）

代表教員：斉木 由美

曜日時限：火曜3限

学 期：通年

単 位 数：4

ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）

開設区分：音楽併設

交流区分：

■授業のテーマ

■授業計画及び内容

バス及びソプラノ課題の四声体和声を実習する。学
習範囲は「総合和声」（音楽之友社）第1章～第3章
までを目処とする。

■教材・参考書

総合和声（音楽之友社）

■成績評価の方法

後期試験でバス及びソプラノ課題を実施させる。

■履修上の指示事項

■備考（オフィスアワー）

和声（初級）

代表教員：樋村 絢
曜日時限：火曜3限
学 期：通年
単 位 数：4
ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）
開設区分：音楽併設
交流区分：

■授業のテーマ

■授業計画及び内容

バス及びソプラノ課題の四声体和声を実習する。学習範囲は「総合和声」（音楽之友社）第1章～第3章までを目処とする。

■教材・参考書

総合和声（音楽之友社）

■成績評価の方法

後期試験でバス及びソプラノ課題を実施させる。

■履修上の指示事項

■備考（オフィスアワー）

和声（初級）

代表教員：安田 結衣子
曜日時限：火曜3限
学 期：通年
単 位 数：4
ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）
開設区分：音楽併設
交流区分：

■授業のテーマ

■授業計画及び内容

バス及びソプラノ課題の四声体和声を実習する。学習範囲は「総合和声」（音楽之友社）第1章～第3章までを目処とする。

■教材・参考書

総合和声（音楽之友社）

■成績評価の方法

後期試験でバス及びソプラノ課題を実施させる。

■履修上の指示事項

■備考（オフィスアワー）

和声（初級）

代表教員：市川 景之

曜日時限：火曜3限

学 期：通年

単 位 数：4

ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）

開設区分：音楽併設

交流区分：

■授業のテーマ

■授業計画及び内容

バス及びソプラノ課題の四声体和声を実習する。学習範囲は「総合和声」（音楽之友社）第1章～第3章までを目処とする。

■教材・参考書

総合和声（音楽之友社）

■成績評価の方法

後期試験でバス及びソプラノ課題を実施させる。

■履修上の指示事項

■備考（オフィスアワー）

和声（初級）

代表教員：鈴木 輝昭

曜日時限：金曜4限

学 期：通年

単 位 数：4

ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）

開設区分：音楽併設

交流区分：

■授業のテーマ

■授業計画及び内容

バス及びソプラノ課題の四声体和声を実習する。学習範囲は「総合和声」（音楽之友社）第1章～第3章までを目処とする。

■教材・参考書

総合和声（音楽之友社）

■成績評価の方法

後期試験でバス及びソプラノ課題を実施させる。

■履修上の指示事項

■備考（オフィスアワー）

和声（初級）

代表教員：神本 真理

曜日時限：金曜 4 限

学 期：通年

単 位 数：4

ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）

開設区分：音楽併設

交流区分：

■授業のテーマ

■授業計画及び内容

バス及びソプラノ課題の四声体和声を実習する。
学習範囲は「総合和声」（音楽之友社）第1章～第3章までを目処とする。

■教材・参考書

総合和声（音楽之友社）

■成績評価の方法

後期試験でバス及びソプラノ課題を実施させる。

■履修上の指示事項

■備考（オフィスアワー）

和声（初級）

代表教員：渡辺 俊哉

曜日時限：金曜 4 限

学 期：通年

単 位 数：4

ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）

開設区分：音楽併設

交流区分：

■授業のテーマ

■授業計画及び内容

バス及びソプラノ課題の四声体和声を実習する。学
習範囲は「総合和声」（音楽之友社）第1章～第3章
までを目処とする。

■教材・参考書

総合和声（音楽之友社）

■成績評価の方法

後期試験でバス及びソプラノ課題を実施させる。

■履修上の指示事項

■備考（オフィスアワー）

和声（中級）

代表教員：安田 結衣子

曜日時限：火曜 4 限

学 期：通年

単 位 数：4

ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）

開設区分：音楽併設

交流区分：

■授業のテーマ

■授業計画及び内容

バス及びソプラノ課題の四声体和声を実習する。学習範囲は、「総合和声」（音楽之友社）第4章～第6章までを目処とする。

■教材・参考書

総合和声（音楽之友社）

■成績評価の方法

後期試験でバス及びソプラノ課題を実施させる。

■履修上の指示事項

■備考（オフィスアワー）

和声（中級）

代表教員：松下 倫士

曜日時限：火曜 4 限

学 期：通年

単 位 数：4

ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）

開設区分：音楽併設

交流区分：

■授業のテーマ

■授業計画及び内容

バス及びソプラノ課題の四声体和声を実習する。学習範囲は、「総合和声」（音楽之友社）第4章～第6章までを目処とする。

■教材・参考書

総合和声（音楽之友社）

■成績評価の方法

後期試験でバス及びソプラノ課題を実施させる。

■履修上の指示事項

■備考（オフィスアワー）

和声（中級）

代表教員：樋村 絢

曜日時限：火曜 4 限

学 期：通年

単 位 数：4

ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）

開設区分：音楽併設

交流区分：

■授業のテーマ

■授業計画及び内容

バス及びソプラノ課題の四声体和声を実習する。
学習範囲は、「総合和声」（音楽之友社）第4章～第6章までを目処とする。

■教材・参考書

総合和声（音楽之友社）

■成績評価の方法

後期試験でバス及びソプラノ課題を実施させる。

■履修上の指示事項

■備考（オフィスアワー）

和声（中級）

代表教員：斉木 由美

曜日時限：火曜 4 限

学 期：通年

単 位 数：4

ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）

開設区分：音楽併設

交流区分：

■授業のテーマ

■授業計画及び内容

バス及びソプラノ課題の四声体和声を実習する。
学習範囲は、「総合和声」（音楽之友社）第4章～第6章までを目処とする。

■教材・参考書

総合和声（音楽之友社）

■成績評価の方法

後期試験でバス及びソプラノ課題を実施させる。

■履修上の指示事項

■備考（オフィスアワー）

和声Ⅰ

代表教員：渡辺 俊哉

曜日時限：金曜3限

学 期：通年

単 位 数：4

ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）

開設区分：音楽併設

交流区分：

■授業のテーマ

非和声音を含む和声課題の実施と楽曲分析。

■授業計画及び内容

非和声音を含むソプラノ課題の実施から始め、後期はシャランなどの課題を行う予定。

また楽曲分析も行う。

■教材・参考書

プリントを配布する。

■成績評価の方法

試験及び平常点。

■履修上の指示事項

■備考（オフィスアワー）

和声Ⅱ

代表教員：神本 真理

曜日時限：金曜5限

学 期：通年

単 位 数：4

ジャンル：専門科目（ソルフェージュ和声）

開設区分：音楽併設

交流区分：

■授業のテーマ

和声課題の実習及び楽曲分析

■授業計画及び内容

【訂正後】

HENRY CHALLAN 380 BASSES ET CHANTS DONNES RECUEIL No.7 以降の課題を中心に、非和声音、偶成和音について深め、また、様々な形のバス課題を実施し、楽曲の形を認識する。

【訂正前】

数字付きバス課題をさらに進め、より高度な和声理論を学ぶ。後期は大作曲家の作品の分析に発展させる。

■教材・参考書

【訂正後】

「総合和声」の他、配布プリント

【訂正前】

配布プリント

■成績評価の方法

【訂正後】

試験及び平常

【訂正前】

試験及びレポート

■履修上の指示事項

【訂正後】

記載なし

【訂正前】

和声Ⅰの単位を修得した者

■備考（オフィスアワー）